

# 開設から54年、 千葉北西地域の公共職業能力開発施設

## 我孫子高等技術専門学校 (ちばテク我孫子校)

設置・運営 ● 千葉県  
所在地 ● 千葉県我孫子市久寺家684-1  
訓練課程 ● 普通課程 N C機械加工科・造園科  
短期課程 造園科・事務実務科  
訓練期間 ● 普通課程 1年  
短期課程 6カ月(事務実務科は1年)



### 千葉県立の高等技術専門学校

千葉県立の公共職業能力開発施設は、市原・船橋(本誌2012年秋季号参照)・我孫子・旭・東金・障害者の高等技術専門校の6校体制である。我孫子高等技術専門校は、県北西地域の人材確保・育成の拠点として公共職業訓練と企業支援(在職者訓練)を体系的に実施している。

元々は昭和40年我孫子職業訓練所として開設され、我孫子専修職業訓練校への名称変更を経て、昭和53年4月に現校名となった。JR常磐線我孫子駅から徒歩25分の場所にある。

### 訓練校の理念

訓練校の理念について校長の園田氏は「地域産業の持続的発展に寄与するため、企業の動向やニーズに対応すべく、本校では一人でも多くの有能な技能者を育成し、社会へ輩出することを目標にしています」と語る。

訓練科は、求職者、離職者向けに、N C機械加工科、造園科(1年課程)、造園科(6カ月課程)と知的障がいのある方対象の事務実務科の4科を設置している。

### 教育訓練の特長・取得できる資格

N C機械加工科は、CAD(コンピュータ支援製図システム)やNC(数値制御)工作機械等を活用し、設計から製造までを一貫して行えるエンジニアを養成するコースである。

訓練第一課長の永山栄一氏は、「本校にはマシニングセンター3軸機・5軸機を始め、企業ですぐに役立つ最新の加工機がそろっています。実技のほかにも、設計や加工に必要な知識を学んで習得し、幅広い応用力を養うことができます。企業からは、訓練の有無で定着率に差が出るとも伺っておりまして」と語る。

造園科(1年)は、主に若年者を対象として、造園に必要な設計・施工・樹木管理等のほか、CADによる住宅庭園の設計や伝統的な造園技術に関する知識と技能を学ぶ。技能五輪全国大会への出場や庭造りを通じて物づくりの楽しさを経験し、将来の造園工事の現場管理・監督者を目指す。

造園科(6カ月)では、主に離職者を対象として短期間で即戦力となるよう、作庭に必要な技能と庭園管理の技能、関連する機械類の操作法と安全教育をいくつかの作業に分類し、習得する。

事務実務科は、知的障がいのある方を対象にパソコン操作、書類の作成と整理など、事務系の職業訓練を中心に実施している。

「全国に先駆け、障害者校ではなく一般校を活用している科です。事務系以外のさまざまな職種に対応できるように販売・物流業務実習や基本作業実習などの訓練も併せて実施しています。就職指導や修了後の定着支援も受けられますので、安心して訓練に取り組みます」(園田校長)

取得できる資格は、N C機械加工科は、CAD利用技術者試験、ガス溶接技能講習修了証、課程修了(技能照査合格)により技能士補等。造園科(1年)は技能士補(同右)、玉掛技能講習修了証等。造園科(6カ月)は、2級造園技能検定受験資格等。事務実務科は情報処理技能検定試験、日本語ワープロ検定試験等がある。

### 入校希望者へのメッセージ

N C機械加工科修了生からは、「私は幼い頃からものづくりが大好きで、高校当時の担任教師の紹介で入校しました。訓練期間中は、毎日が充実していて、あっという間に1年が経ってしまいました。担任の先生はとっても親身になってくださり、おかげで今の勤務先にも就職することができました。本校では就職に必要ないろいろな資格を取得することができ、自然と自分のやりたいことが見つかると思います」とのコメントも。

千葉県立の職業能力開発施設も大きな再編があり、設置科目も改廃があった。

「本校は、立地条件から茨城県からの入校者も多くいます。現代版「ものづくり」の基幹となるコンピュータを活用したN C機械加工科をはじめ、各科は充実した設備と熱心な指導員の教えにより、就職先の各企業から高い評価をいただいています。ぜひ早期就職を目指している方の入校をお待ちしています」(園田校長)